



女川さんま de アオーレ

日本有数のさんまの漁獲量を誇っていた女川町は東日本大震災で大きな被害を受けました。その復興を支援しようと、10月7日(日)アオーレ長岡ナカドマにて、宮城県女川町のさんまを味わう「女川さんま de アオーレ」が開催されました。用意されたさんまの数は5,000尾。さんま焼き名人による炭火焼をはじめ、さんまのつみれ汁の出店もあり、大盛況となりました。

9月定例会

議会活性化特別委員会の 中間報告を行いました

長岡市議会では「開かれた議会、活発な議論が行われる議会、わかりやすい議会」を目指し、今年3月に議会活性化特別委員会を設置し、議論を行っています。これまでの検討結果を踏まえて、次の2項目について9月25日の本会議で中間報告を行いました。

■議決対象の拡大について

「総合計画の基本構想」及び「姉妹都市又は友好都市の提携・変更・廃止」を議決対象に追加し、議会も関与できるようにします。

■一般質問の方式について

市民にわかりやすい議会を目指して、従来の一括質問一括答弁方式に加え、一問一答方式を導入し、質問者が選択して一般質問を行えるようになります。

一般会計補正予算を可決 ～42年ぶりの附帯決議～

東日本大震災の災害廃棄物広域処理受入関連経費を含む一般会計補正予算は、委員会や本会議で審議した結果、可決しました。なお、市が栃尾地域で計画している災害瓦れき試験焼却関連経費については、市民の安全・安心の確保と市民への十分な説明と理解を得て執行するよう附帯決議がつけられました。

補正予算の概要

- 東日本大震災災害廃棄物広域処理受入関連経費 27,104千円
- 大英博物館展示交流事業費 2,049千円
- 災害復旧事業費(融雪災害、7月豪雨災害) 95,600千円 ほか

決算審査特別委員会を設置

9月11日の本会議で、平成23年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査する決算審査特別委員会を設置し、19人の委員が選任されました。決算審査特別委員会は11月6日(火)～8日(木)に開催予定です。

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| ◎小熊 正志 | ○永井 亮一 | 高見 美加 | 藤井 盛光 |
| 浮部 文雄 | 広井 晃 | 佐藤 伸広 | 丸山 広司 |
| 関 充夫 | 杵淵 俊久 | 細井 良雄 | 中村 耕一 |
| 桑原 望 | 長谷川一作 | 西澤 信勝 | 杉本 輝榮 |
| 関 正史 | 高野 正義 | 笠井 則雄 | |
- (◎委員長 ○副委員長)



中間報告を受け、酒井正春議長が山崎和夫・磯田達伸両副市長に申し入れをしました。

9月定例会

11人が一般質問

一般質問の主な質問と答弁の要旨を掲載します。
初日は、故 鈴木正一議員の追悼式のため全議員が敬意を表した服装で開催しました。



藤井 盛光 議員
(1期・たちあがれ日本)

若者の雇用創出と 起業支援について

問 市内に若者をとどめるには、魅力的な就職先を供給する必要があり、若者の起業支援を更に進めるべきと考えるがどうか。

答 市では現在、ながおか創業者フォーラムや起業塾など、起業に関するイベントを各種開催している。また、資金面での支援策として、起業向けの融資制度や補助制度を設けており、これらの制度を活用することで、起業に取り組み若者が増えてくると考える。今後、起業に対する計画の

指導や経営面のアフターケアなど、若者の下支えとなるような支援に積極的に取り組んでいきたい。
議会を生かす市政運営について

問 瓦れきの処理の方法など、説明責任が大きいと思われる。説明責任を担った形での意見交換を行い、意思決定をすべきと考えるがどうか。

答 議会と理事者との関係は、これまで様々な意見が交わされてきている。どのように関係を構築していくかを真剣に議論し、その結果しっかりと関係が構築されていくことが大切である。議会では、市民にわかりやすい、開かれた議会を目指し、議会活性化特別委員会が設けられているため、その中で議論を踏まえ、議会と理事者との関係についても検討していきたい。



高見 美加 議員
(1期・市民クラブ)

震災瓦れきの受け入れについて

問 試験焼却の候補地となっている栃尾地域の住民は不安視している。反対の活動、署名等がある中、今後、住民合意を得たか、市はどのように判断するのか、市の考えはどうか。

答 8月に行われた第一回目の住民説明会では、まだ市の説明が行き届いておらず、住民の理解は得られていないと感じている。地元住民による反対の署名活動は、そのあらわれであることと認識している。今後、丁寧な時間をかけて説明を行い、住民の理解が得られるよう努めたい。

子どもたちを取り巻くスポーツ環境の課題について

問 子どものスポーツ環境を確保していくために、学校の活動も含めて考えていくべきだと思いませんか。

答 生徒数の減少に伴い、部活動の数も減っている学校が多くある中、地域が主体となり学校の枠を越えて、子どものスポーツ環境の確保に向けて取り組むことは大切である。そのためには、地域のスポーツ協会や学校等が連携、協力し、地元の体育施設を有効に活用して、子どもが日常的にスポーツをできるような仕組みづくりに向けた取り組みを進めていくことが必要と考える。市では、そうした地域の実情に応じた取り組みに対して、しっかりとした支援を行っていききたい。



杉本 輝榮 議員
(3期・民成クラブ)

市の地域防災計画見直しについて

問 地域防災計画（原子力災害対策編）の進捗状況はどうか。

答 県内の市町村による原子力安全対策に関する研究会では、全30市町村が連携した実効性のある避難計画の暫定版について、今秋を目途に取りまとめでいく予定である。それを生かして市の防災計画を策定することにより、風向きを念頭に、屋内避難や避難を想定した地図の作成など、順次準備を進めている。

柏崎刈羽原発の再稼働について

問 全国的に再稼働反対の声が強くなっているが、柏崎刈羽原発に隣接する市としての対応はどうか。

答 原発の再稼働については、第一に国が専門的、技術的な面から安全確保を確実にすること、第二に原発が立地する住民や長岡市を含めた周辺住民が安心して暮らせる環境を整備すること、以上の2点が重要と考える。市では、東京電力に対し、柏崎刈羽原発の防潮壁、防潮堤の建設状況の確認や、福島原発事故の事故報告を求めると、安全対策について確認を行っているところである。これらを踏まえて、原発に隣接する市として国や県、東京電力に対して意見をしっかりと伝えていきたい。



長谷川 一作 議員
(3期・市民クラブ)

守門岳から日本海、自然環境を生かした地域振興策について

問 栃尾商工会が中心となつて行った「栃尾地域街なかにぎわい事業」の実績と、今後の栃尾商工会の取り組みについて市の考えはどうか。

答 街なかにぎわい創出事業では、栃尾地域の歴史や文化を来街者に紹介する看板の設置や、各商店の1押し商品のPR、門前市場の開設等を行っている。これにより、来街者は以前より増加しており、中心市街地の活性化につながっている。今後も栃尾商工会が計画している各種事業の効

東日本大震災による瓦れき受け入れについて

問 群馬県の吾妻東部衛生施設組合は、当初は風評被害を懸念して反対が多数あったが、丁寧な住民説明や現地視察等を積み重ね、本格受け入れにこぎつけたと聞く。市も住民の安心、信頼の確立の上進めてもらいたい。

答 施設に隣接する地区以外に開催の要望が寄せられており、栃尾地域全体の説明会も含め、現在日程調整などを行っている。引き続き、各地区や各種団体等へ丁寧な説明を重ねるとともに、搬出元の大榎町や先行自治体への現地視察会も今後計画する予定である。試験焼却が万全な体制のもとで行われることを、様々な機会を通して地域の皆さんに理解していただけるよう努めたい。



笠井 則雄 議員
(4期・共産党市議団)

子育て支援策について

問 病後児保育事業の効果と病的利用方法はどうか。

答 病後児保育は、現在4カ所を実施し、平成23年度は809人の利用があり、いつも通う保育園に預けられない場合に助かるとの声が寄せられている。また、病児保育の目的は病気がなくなった子どもの緊急の保育である。利用方法は、市に事前登録をし、実際に利用したいときに医師専用の連絡表と処方薬を持って希望する施設に申し込みをする。今後も安心して子育てができるよう子育て家庭

柏崎刈羽原発30キロ圏内の長岡市における原発問題について

問 安全協定は、市民の声を反映させる有効な手段である。東京電力に対し、安全協定を締結したい旨を早期に表明することが重要だと考えるがどうか。

答 県内の市町村による原子力安全対策に関する研究会を通じて、目指すべき安全協定のあり方について詳細な検討をしている。その研究会の中で、県内の30市町村ができるだけ足並みをそろえたいということもあるが、原発からの距離によって、安全協定の内容が異なることは合意を得ている。今後の正式な意思表示については、協議する内容が固まった段階で行っていききたい。

●その他の質問
原子力防災計画の策定について

もっと詳しい内容が知りたい方へ

一般質問の詳細は、12月上旬発行予定の会議録、またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。

■会議録のあるところ

アオーレ長岡東棟1階行政刊行物コーナー、東棟3階情報公開コーナー、西棟4階議会事務局、各支所、市内図書館 など

■会議録検索システム、インターネット録画中継

⇒「長岡市議会ホームページ」にアクセス

長岡市議会

※1 JGAP: Japan Good Agricultural Practiceの略。農場やJA等の生産者団体が活用する農場・団体管理の基準で、認証制度。
※2 病後児保育事業: 病気の回復期にあるものの、集団での保育がまだ困難な子どもを保育園等の専用施設で一時的に預かって保育を行う事業。
※3 病児保育事業: 子どもが病気である場合でも保護者が仕事を休めない場合に、親に代わってその子どもの保育を行う事業。



細井 良雄 議員 (2期・共産党市議団)

山間豪雪地域の雪害対策の 拡充と地域や集落の 存続・発展について

問 災害救助法が適用された場合の住宅除雪は、要援護者に限らず、豪雪災害から地域を守るためにスムーズな対応を望むが、市の見解はどうか。

答 緊急性を要する状況では、資力の有無に関わらず救助の必要のある世帯は災害救助法による除雪が可能であるとの国の考えが示された。その適用についてはその都度国、県が判断することを確認済みである。市は、県の通知に従って適切に対応していきたい。

問 地域コミュニティの集落等で組織する除雪隊の活動への支援についてどう考えるか。また、冬期集落保安要員設置制度における要件緩和はどうか。

答 雪害対策の拡充は集落の存続に関わる重要な課題である。災害対応や地域コミュニティ活動の推進等が持続的な集落の存続、発展につながる。各地域で自発的な活動をしている団体の活動実績をきちんと把握し、地域の実態に応じた多様な支援の仕組みづくりを検討したい。また、県の冬期集落保安要員設置制度は、住民の安全と生活環境の維持向上を図る上で大変有効である。しかし、現行制度で対象となる集落は半蔵金と法末の2集落のみである。地域の実情に合った要件の緩和を県に強く要望していきたい。

●その他の質問
信越線塚山駅におけるパークアンドライドの整備について



関 充夫 議員 (2期・しん長岡クラブ)

有害鳥獣の対策について

問 ハクビシン等の有害鳥獣対策に関する市の取り組みはどうか。

答 市は、人の体に危害を加えるおそれのある熊やイノシシなどの出没時の捕獲、農作物被害に対する駆除費用の補助のほか、長岡駅前など公共の場でのムクドリなどの追い払いなどの対応を行っている。外来種であるハクビシン被害については、ハクビシンの習性や被害の予防対策について周知し、被害の防止に努めていきたい。また、捕獲する場合には、捕獲許可が必要となり、その場合は



大平 美恵子 議員 (3期・無所属の会)

原発から30キロ圏内の 安全確保の実効性と 再稼働問題について

問 現在、県・柏崎市・刈羽村と東京電力との間で結ばれている安全協定中の「立ち入り調査」と「適正な措置要求」は市の安全協定の中でも譲れない点であると考えるがどうか。

答 立ち入り調査は、県・柏崎市・刈羽村の職員が県技術委員同伴の上実施することとなっている。その結果、適正な措置要求を求める場合には、県と柏崎市・刈羽村が十分に協議の上、県の名で実施することになっており、県の責任と役割が極めて重視されている。

ている。今後、原子力安全対策に関する研究会を通して、原発からの距離を踏まえた内容や目指すべき協定のあり方を検討したい。

問 市が東京電力と安全協定の再稼働にあたり協定が持つ効力を市はどう考えるか。

答 県・柏崎市・刈羽村が締結している安全協定には、定期点検後の再稼働に際し、事前の了承を必要とする条項は盛り込まれておらず、直接的な効力はないと考える。しかし、安全協定は原発の周辺地域の安全確保を目的として締結しているもので、県や立地市町村が常に原発の状態を注視し、東京電力に対し安全確保を求め続けることで住民の安全につながる効果があると考えている。



桑原 望 議員 (3期・無所属の会)

中心市街地の活性化と 基本計画について

問 中心市街地が市民にとってハレの場と意識され、満足につながる事が重要。市にぎわいのとらえ方はどうか。

答 にぎわいのとらえ方として、多くの市民が何を望んでいるかが重要で、三点あると考えている。①中心市街地は長岡の顔として活力のある立派なものであること、②中心市街地がにぎわって長岡全体が活性化すること、③商店街が活性化しにぎわいを取り戻すことだと考える。①と②は、アオーレ長岡の整備などにより順調に推移してきている。③は、今後アオーレ長岡のにぎわいを拡げていく中で商店街の方々と行政が協働し、連携していきたい。



広井 晃 議員 (1期・市民クラブ)

2014年問題について

問 北陸新幹線開通の2014年が迫る中、これに向けた長岡市の基本的な考え方と具体的な対策はどうか。

答 上越新幹線の運行本数の減少などをどう防ごうかという問題については、県全体で新潟県の拠点性と連携軸をどのように高め課題に対応するかが重要と考える。また、厳しさを増す都市間競争を市はどのように勝ち抜くかという現実的な課題もあり、早い段階から合併によって得られた広域観光資源の整備や全国に向けた発信、アオーレ長岡の建設など、



諸橋 虎雄 議員 (3期・共産党市議団)

医師確保と地域医療の 危機打開について

問 栃尾郷診療所における常勤内科医師の増員は緊急課題である。市としてもその実現に真剣に取り組んでほしいがどうか。

答 栃尾郷診療所の運営者である新潟県厚生農業協同組合連合会では、診療所のあり方や経営改善策の検討を進めるとともに、医師確保のため内科医師を募集している。市としても栃尾郷診療所は栃尾地域の医療において重要な役割を果たしていること認識しながら、県や医療機関等への医

まちの魅力を高める施策に積極的に取り組む、新たな来訪者やリピーターを増やす取り組みを行い、将来への布石を打っている。なお、沿線自治体や経済団体などで構成する上越新幹線活性化同盟会では、国やJRに新幹線や在来線の維持向上に対する要望を行っている。

問 職業意識を育む点から、自己の確立がなされる中学生のときから職業意識を創生するために、長岡市内の専門高校を活用してはどうか。

答 アオーレ長岡を会場として行われた県教育委員会主催の「県立専門高校メッセ」は、参加した中学生の抱いていたイメージを大きく変えたり、拡げたり、大変有効であった。今後、長岡版の取り組みとしてできないか、高校や関係機関と十分相談したい。

問 栃尾郷診療所における常勤内科医師の増員は緊急課題である。市としてもその実現に真剣に取り組んでほしいがどうか。

答 栃尾郷診療所の運営者である新潟県厚生農業協同組合連合会では、診療所のあり方や経営改善策の検討を進めるとともに、医師確保のため内科医師を募集している。市としても栃尾郷診療所は栃尾地域の医療において重要な役割を果たしていること認識しながら、県や医療機関等への医

※4 県立専門高校メッセ：中学生に対し、農業・工業・商業等の専門学科及び総合学科で学ぶ高校生が主導役になり、実習体験などを通して、専門学科や総合学科の魅力を紹介するもの。(平成24年8月7日開催)
※5 アナフィラキシー：食物等が原因で起こる急性アレルギー反応のひとつ。じんま疹、腹痛、嘔吐や呼吸困難などの症状が複数かつ急激に出現した状態。

9月定例会 議決結果

9月定例会は、9月11日から25日までの15日間の会期で開催し、11人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

また、市長提出議案22件、議員提出議案2件、請願2件を審査し、それぞれ右表（会派別議案賛否一覧表）のとおり議決しました。

人権擁護委員の推薦に同意

9月25日の本会議最終日に、次の方を推薦することに同意しました。

- 田村 浩 氏（新任）
- 小川美英子 氏（新任）
- 田中 雅子 氏（再任）

会派別所属議員（9月25日現在）

市民クラブ	丸山 勝総 松井 一男 丸山 広司 浮部 文雄 加藤 尚登 高野 正義 小熊 正志 矢野 一夫	関 正史 長谷川一作 高見 美加 広井 晃 古川原直人 五井 文雄 大地 正幸
しん長岡クラブ	永井 亮一 山田 省吾 水科 三郎	杵淵 俊久 関 充夫
共産党市議団	笠井 則雄 木島 祥司	諸橋 虎雄 細井 良雄
民成クラブ	佐藤 伸広 加藤 一康	杉本 輝榮 小坂井和夫
公明党	藤井 達徳 山田保一郎	中村 耕一
無所属の会	大平美恵子	桑原 望
たちあがれ日本	藤井 盛光	
無所属	西澤 信勝 酒井 正春（議長）	関 貴志

市議会を傍聴しませんか？

次の定例会は12月を予定しています。傍聴方法は、ホームページまたは議会事務局まで。（☎39-2244）

市議会の活動状況

●議会運営委員会

- 8月10日 9月定例会の会期について
- 9月7日 9月定例会の運営方針について
- 9月11日 9月定例会招集日の運営方針について
- 9月25日 9月定例会最終日の運営方針について

●特別委員会

- 7月26日 議会活性化特別委員会
- 8月27日 〃
- 9月25日 〃
- 10月23日 〃（講演会）

●議員協議会

- 8月10日 ・災害廃棄物の受け入れについて
- ・長岡造形大学の公立大学法人化について

●委員協議会

- 9月19日 産業市民委員協議会
- 9月20日 文教福祉委員協議会
- 9月21日 総務委員協議会

会派別議案賛否一覧表

○：議案に対して会派全員が賛成 △：議案に対して会派全員が継続審査
×：議案に対して会派全員が反対

9月定例会

議案	会派名 ()は所属議員数	市民	しん	共産	民成	公	無	たち	西	関	議決結果
		民	長	産	成	明	所	あ	澤	貴	
		ク	岡	党	ク	明	属	が	信	志	
		ラ	ク	市	ラ	の	れ	あ	勝	議	
		ブ	ラ	議	ブ	会	日	が	議	員	
		(15)	※1	団	党	(2)	(1)	れ	員	員	
市長提出議案	補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
	平成24年度長岡市一般会計補正予算 平成24年度長岡市国民健康保険事業特別会計補正予算 ほか4件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市議提出議案	条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	和解及び損害賠償 3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市道路線の認定、変更及び廃止 1件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願	決算	△	△	△	△	△	△	△	△	△	継続審査 ^{※2}
	人事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	請願	×	×	○	×	×	○	×	○	○	不採択
請願	地球温暖化対策のための「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願	福島原発事故の検証と地域住民の合意なしに柏崎刈羽原発の再稼働を認めないよう求めることに関する請願	×	×	○	×	×	○	×	○	○	不採択
	私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※1 永井議員は欠席。

※2 決算の認定については、11月6日～8日に開催予定の決算審査特別委員会で審査します。

※3 杉本議員は賛成。

9月定例会 意見書

市民生活に重要なことで、それが国や県の仕事である場合、市の力だけでは解決できないことがあります。このようなときには、関係機関に「意見書」を提出して、積極的な解決を求めています。なお、全文は市議会ホームページをご覧ください。

地球温暖化対策のための「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築に関する意見書(要旨)

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、重要かつ喫緊の課題となっており、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠です。

しかし、これら市町村においては木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足しています。

よって、国会及び政府におかれては、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築されるよう、強く要望します。

(送付先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国家戦略担当大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書(要旨)

公立高校の授業料不徴収及び高等学校等就学支援金制度の施行により、公立高校の無償化とあわせて、私立高校生には就学支援金が支給され、保護者の経済的負担の軽減が図られました。

しかし、私立高校における学費の負担は、いまだ家計を圧迫しており、就学支援金支給後も私立高校初年度納付金の負担が残されたままになっています。

自治体によっては、一定の年収以下の家庭に対して私立高校の授業料を実質無償化する独自措置を行っておりますが、財政的に苦しい自治体ではできないところもあり、私立高校の学費に関する「自治体間格差」も生まれてきています。よって、国及び県におかれては、私立高校の修学上の学費負担を軽減する立場から私学助成を増額・拡充されるよう、強く要望します。

(送付先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、新潟県知事

議員の年賀状は禁止されています

市議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、選挙区内の人に対して年賀状を出すことやお歳暮などを贈ることが公職選挙法で禁止されています。ご理解をお願いいたします。

